

平時からの備え 2つの取組み

平時からの顔の見える関係性構築のために

第2回



3月6日 2025 木曜日

14:00~15:30

松阪市市民活動センター 会議室

頻発する地震や台風等の自然災害は、改めて“平時からの備え”の大切さに気づかされます。松阪市市民活動センターとしては、市民活動団体に限らずあらゆる主体が“平時から備えておく（ゆるやあかにつながりを作っておく）”必要性の高さを感じています。そこで、気軽につながる場として「ゆるやあかにつながるサロン」を開催します。サロンで生まれる“あ”という小さな気づきが、新たな活動の一步に繋がると嬉しく思います。

参加費 **無料** ※アルコール以外のお飲み物、お菓子の持ち込み大歓迎！

災害時、心身の健康を守るために

● 一斗缶を使った簡易トイレ作り ●

かんい
缶易トイレ
の作り方

センター登録団体：防災ボランティア 春告鳥



3月22日 2025 土曜日

10:30~12:00

カリヨンプラザ2F 多目的ホール

大規模な自然災害による被災時に大きな課題となるのがトイレの問題です。この地域は南海トラフ地震がいずれ起こるといわれており、各自で避難生活を想定した備えをしておく必要があります。そこで、被災時の心身の健康を守るために松阪市市民活動センターの登録団体「防災ボランティア 春告鳥」さんを招き、一斗缶で作る「缶易(かんい)トイレ作り」のワークショップを開催します。いざという時の備えとして、ぜひご参加ください。

参加費 缶1個につき **100円** ※この事業の収益は赤い羽根共同募金に全額寄付します。

いずれの事業も下記の連絡先から **事前のお申込み** をお願いします。

松阪市市民活動センター 松阪市日野町788 カリヨンプラザ 3F

TEL 0598・26・0108 Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp



◀松阪市市民活動センターHP「センター実施事業」一覧から該当ページをご確認ください。